

小数のかけ算はできますか？

2022. 8. 24 (水)

小学5年生のこどもが算数教室から帰ってきました。

小数のかけ算を勉強してきました

母：きょうは、何を勉強してきたの？

子：小数のかけ算

母：小数のかけ算の何を勉強してきたの？

子：かけ算

母：…

できたの？

子：できた。

母：まちがえなかったの？

子：まちがえたけど、ぜ～んぶ〇をもらった。

母：わからない問題ってなかったの？

子：ない。

ぜ～んぶ〇！

母：がんばったね！

子：うん。

あそびに行ってくるね。

と家を飛び出していきました。

テストがあって、答案が返ってきた

2、3日後、学校で小数のかけ算の確認テストがあったということで、答案をもって帰ってきました。

答案を渡すと、すぐ逃げていったので、母は、もしや…とおもい、すぐ答案を見ました。

ただ、ただ、愕然とするしかありませんでした。

25点？

×のついているいくつかの問題が目に入ってきます。

$$\begin{array}{r} 7.3 \\ \times 5 \\ \hline 351.5 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 4 \\ \times 1.3 \\ \hline 12 \\ 4 \\ \hline 1.6 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 2.1 \\ \times 1.3 \\ \hline 63 \\ 21 \\ \hline 8.4 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 1.03 \\ \times 0.22 \\ \hline 206 \\ 206 \\ \hline 4.12 \end{array}$$

理路整然と間違えているのが怖い

ほぼ、同じ論理で間違えています。

かけ算の間違えもそうですが、ここでは、小数点の打ち方の間違いに注目して下さい。

3年生の「小数のたし算ひき算」で、小数点を下ろして、答えの小数点を決めました。

4年生で「小数×整数」で、小数点を下ろして、答えの小数点を決めました。

2年間、小数点を下ろす練習を続けてきました。

5年生になって、いきなり問題の小数点以下の桁数の和を求めて積の小数点を打て、などと言われても、そうすると○をもらえるから、そうするだけで、テストでは2年間”なじんできた”規則で計算します。小数点を下ろすと”落ち着く”のです。安心できるのです。

「安心」をいかに壊すか

もちろん、こんな規則に安心されては困ります。

本来、小数×小数をまず学習させ、その後で、特殊な形として小数×整数、整数×小数を学習させるとこのような間違いをすることはなくなるのです。

しかし、教科書では、4年生で小数×整数を学習し、5年生で小数×小数を学習させるので、5年生の小数×小数の学習の前に、4年生までの小数のかけ算の規則の考え方(小数点を下ろす)を生徒の頭の中から追い出す必要があります。

計算練習というのは、学校でも塾でも一生懸命やらせます。

そのようにして、小数のかけ算の一般規則を頭の中に埋めこむのは、やはり危険です。いつか、必ず、小数点を下ろしてしまいます。

計算練習ではなく、計算方法の理由を説明する練習をさせる必要があります。

こうして初めて2年間の安心を打ち壊し、小数のかけ算の一般的規則を習得することが可能となります。

具体的には、どのような指導したらいいのか。

数専ゼミの小数のかけ算の計算規則を習得させる教材を紹介しましょう。

Link | [小数のかけ算 No.2 小数をかける計算の考え方\(その2\)](#) |

Link | [小数のかけ算 No.3 小数をかける計算の考え方\(計算練習と文章題\)](#) |

Link | [小数のかけ算 No.4 筆算のしかた](#) |

なぜを教える数専ゼミの算数・数学教室です。

数専ゼミ・山形東原教室

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: **(023)633-1086** / FAX. (023)633-1094

メールアドレス: suusen@seagreen.ocn.ne.jp